

公益財団法人高原環境財団の支援による

『全国都市緑化フェア会場周辺の子どもたちの環境学習活動に対する助成事業』

活動報告

第40回全国都市緑化仙台フェア

2023年度全国都市緑化フェアの開催地である宮城県仙台市において、“公益財団法人 高原環境財団”からの支援により、緑化や自然体験など子どもたちが参加・体験する活動を実施しました。



名称	第40回全国都市緑化仙台フェア
愛称	未来の杜せんだい2023 ～Feel green!～
事業主体	第40回全国都市緑化仙台フェア実行委員会
開催期間	令和5年4月26日（水）～6月18日（日）／54日間

【テーマ】 杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く

青葉山公園追廻地区会場（メイン会場）



まちなかエリア会場（未来のまちづくり）



東部エリア会場（震災の記憶の継承、緑の復興）



【高原環境財団助成事業 2023-301】

次世代のみどりの担い手を育む「杜のウォールガーデンプロジェクト」

公益財団法人仙台市公園緑地協会

協賛会場である「七北田公園芝生広場」にて、仙台市立市名坂小学校6年生100名が参加し、壁面緑化（幅6m×高さ2.5m程度）、φ120cm花壇×1箇所、φ80cm花壇×2箇所を作成。壁面緑化のデザイン作成と花苗の植付・管理を小学生が担当し、斬新なアイデアや地域性を盛り込みながら公園入口のおもてなし感を演出しました。



仙台市立市名坂小学校

1回あたり100名



特別授業でウォールガーデンづくりの作業風景



完成デザインイメージ



緑化・造園技術を学ぶ高校生等による子どもたちへの環境教育 一般社団法人宮城県造園建設業協会

宮城県内の農業高校等の生徒・学生が、造園企業の職人を講師に技術を学びながら、みどりについて学び、次世代のみどりの担い手を育むプロジェクト。作庭した庭園等を活用し、高校生などが子どもたちに環境教育を行い、緑化や造園の魅力や緑のまちづくりの重要性を発信しました。



造園家の指導により庭園づくりに取組む高校生



農業高校3校／フェア来場の子供達

高校生20名／ワークショップ参加者300名



ワークショップの様子を伝えるニュース映像



フェア来場の子供達向けワークショップ

ガーデンを活用し、生物多様性について学びの機会創出 花と緑の力で3.11プロジェクトみやぎ委員会

3.11プロジェクトみやぎ委員会の指導のもと、宮城県農業大学校の学生達が、青葉山公園追廻地区会場にて、昆虫たちの住処になる「インセクトハウス」がある庭園を作庭しました。この施設で、子ども達や来場者達が見学だけでなく、自然環境や昆虫などを学ぶことができるワークショップを開催。実行委員会と学生達が、昆虫たちが自然環境の中でどのような役割を担っているか説明しました。



宮城県農業大学校／フェア来場者

学生15名／ワークショップ 参加者200名



インセクトハウス庭園 イメーンスケッチ



子供たちのチカラでつくる『フラワーウェルカムストリート』

仙台駅東まちづくり協議会

まちなかエリアである 宮城野通を、仮設花壇（市民協働花壇）と大型プランターの草花による修景により『ウェルカムストリートづくり ウェルカムストリートづくり』を目的とした活動を地元の小学生、大学・専門学校生と連携し、環境学習を兼ねて取り組みました。子供たちが参加しやすいよう、榴岡公園パークマネジメント社会実験の様々な企画も取り入れ、継続して活動できる仕組みづくりに取り組みました。



参加団体／1回あたり人数

①仙台駅東まちづくり協議会会員等	5～10名
②東北福祉大学ボランティア	7～10名
③ECO動物海洋専門学校ボランティア	2～3名
④宮城県造園建設業協会宮城野分会	5～7名
⑤榴岡小学校生徒・保護者	20～30名



市民協働花壇づくり



花の植替え作業



泉中央おもてなしガーデンプロジェクト

宮城県造園建設業協会 泉分会

緑化フェア開催にあわせ、泉中央エリアを花で彩り、来訪者をおもてなしするプロジェクト。小学生の主体性を育み、地域住民と協働による花による地域の活性化、エリア全体で一体感を醸し出し、エリアの魅力アップを目的に実施しました。泉区らしいテーマカラー（青色、黄色）の花で統一を持たせるため、青色は、ネモフィラの苗を400株、黄色は、泉区の花であるスイセンをイメージし、マルチコーレを植えました。



近隣小学生、ガールスカウト宮城第21団、ボーイスカウト泉第1団等

1回あたり約100名



【おもてなしガーデン（花壇）の設置場所】

※赤枠部分が「泉中央おもてなしガーデンプロジェクト」で新設

※黒枠部分が従来からの各団体の花植え活動



◇春の花植えイベント◇



◇夏花壇づくりイベント◇



仙台ふるさとの杜再生プロジェクト
バタフライガーデンづくり～被災地域に蝶を呼ぶ～
仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議

東日本大震災の津波被災地である荒浜地区の復興の様子を県内外の多くの人に伝え、“杜の都仙台”にふさわしい「ふるさとの杜」を市民の力で再生するプロジェクト。生き物にやさしく、蝶が舞うバタフライガーデンづくりに、若林区の七郷幼稚園年長組の皆さんが参加し、長の蜜源にもなるバーベナ、ルドベキア、ネペタ、エキナセアなどの植物を植えました。このほか、みどりの再生には、たくさんの樹木を植えるだけでなく、その後の樹木の育成、保全等に多くの力と時間が必要となるため、次世代を担う子ども達に杜づくりに参加してもらいました。



近隣の保育園児、小学生他

1回あたり約50名

◇バタフライガーデンづくり



◇杜を育てる講習会◇



◇防災学習・環境学習イベント◇

